

1. 開催概要

- 開催日 : 2015年4月14日（火） 16:30~19:00
- 開催場所 : BCAA 東京オフィス
- 進行役 : 大塚（座長）
- 議事録作成 : 大塚（座長）
- 出席者数 : 8名（出席者名は末尾参照）
- 配布資料 : なし

2. 議事内容

(1) はじめに（報告：大塚）

2015年度の最初のITBO研究会にあたり、本日の参加メンバーから一言ずつ近況、抱負を発表いただいた。

- ・今年も国内マラソン・トライアスロン競技会へ積極的に参加する予定。近々大きなマラソン大会に申し込む（山）
- ・昨年は健康上の理由で公私に渡り長期休暇を取った。最近はもともと得意であった（Java系、スクリプト言語で）プログラミングを試している。（岡）
- ・今年1/1から、会社員生活を卒業し、（公社）環境教育フォーラム（JEEF）の環境関係のシニア自然大学に参加している。（近）
- ・昨年と変わらず、（プラットフォーム系の）仕事を担当している。来年からマイナンバー制度が開始するにあたり、既存の従業員、扶養者のマイナンバー収集に莫大な時間と労力がかかると懸念。多くの従業員を抱えている企業はどのように対応するのだろうか（吉）
- ・先月、仙台でのBCAAイベントに参加した後の帰路、仙台空港でトラブル見舞われた。結局天候の理由で、搭乗機から降りることになったがその時の機長の説明および乗客がとった行動がとても面白く、いい経験となった。（伊）
- ・先日、鎌倉の源氏山で旧知の友人と若者を誘って花見に行った。若者は大学生（いわゆるITオタクという人種）であったが、困ったことに急性アルコール中毒で救急車のお世話になってしまった。（後）
- ・ドローン（無人機）等々テクノロジーの発達によって、その場にいなくても現地の情報が手に入り、人が判断し遠隔操作するまたはテクノロジーが自動で判断して実行することが可能になった。ドローン対人間の戦いは、いままでの戦争の目的を変えてしまうのか？（大）
- ・いえいえ、戦争の本質は変わっていないと思う。しばしば（対戦型）ゲームの感覚で... という表現で短絡的に、「ゲーム批判」に繋げることがあるが、決してゲーム、（あるいはゲーマー）が悪いことにはならない。人類の歴史の中で、ITが登場した

のはごく最近始まったこと。これからITの活用と反省の中でよりよいものになっていくだろう。ITが悪の道具とならないように！どうしていくべきか考えるのが我々の責任である。(山、岡、近、後、大、他)

(2) 連絡事項

① 3/16(月)、国連防災世界会議パブリックフォーラム BCA0 アワード表彰式&講演会@仙台の様相(伊藤副座長)

予想以上の集客(100名定員に対し1.5倍ほど)で用意した資料が不足するなど大変盛況であった。3部構成から成る長時間の表彰式&講演会となったが、内容が充実していた。事前の情報になかったがパネルディスカッションにDRII副社長クロエ・デムロフスキー氏も加わりDRIの持つグローバル視点での興味深いメッセージがあった。

表彰式&講演会終了後、別会場にて受賞者とのパーティーが開催されたがこちらも多くの参加があり大成功のイベントとなった。

② 3/19(木)東京商工会議所@丸の内でのクロエ・デムロフスキー氏(DRII副社長)講演会のメッセージの概要(大塚)

テーマは「Risk Management + Business Continuity Management=Resilience」

- ・ Risk Managementはハザードリスクを対象に保険を起源。
- ・ Business ContinuityはITのDRを起源とし、物理的(セキュリティ)対策中心に発展
- ・ RM, BCとも経営に必須だが、最近ではEnterprise Risk Managementのなかで包括的に扱われる。詰まる所RMもBCも企業の競争優位に立つ戦略的準備とみなされる。

※米国でも企業がBC単体では進めるのは難しいのですね。DRIも時代の流れにうまく乗って経営が受け入れやすい表現に変えていっていると考えられます。(大)

③ (株)イーライトジャパン社(E-light Japan Inc.)活動状況について(後藤氏)

・先日当研究会メンバーの後藤氏と大塚でイーライトジャパンの勝倉代表取締役社長とお話しを聞く機会があり、その内容(当社の日本における活動の概要)をフィードバックする。

・イーライトジャパン社は、「ニッポンを守りたい」をキャッチフレーズに2月に事業を開始した。現在は、国内の主要なサイバーセキュリティサービス提供会社とタイアップし、当社の強みであるペネテストの提供を中心にした包括的な脆弱性評価と対策コンサルサービスを展開する予定である。日本はウクライナの専門家グループによるサイバーセキュリティサービス提供のための窓口が置かれる。今後日本語への翻訳等を進めながらできるだけ多くの日本人専門家を持つようにしたいということである。

・現在、ウクライナ在住でウクライナ本部との直接的な窓口を担当している、三島氏が日本法人のメンバーと事業計画作成のため東京を訪れている。(三島氏とは、

研究会終了後の懇親会でお会いした)

・日本における具体的なサービスの提供が開始される時期に BCAO にお招きしお話を伺う機会を持ちたいと考える。

- ④ IPA 主催、「サイバーセキュリティリスクと企業経営に関する研究会」活動について → 当件を ML で投稿いただいた野原氏が遅れての参加になったため延期
- ⑤ 3月のBCAO 運営会議は無いが BCAO 事務局から BCAO 総会が5月13日(水)の開催予定であるとの連絡があった。

3. 本日のテーマ

(1) 「クラウドサービスにおけるセキュリティと事業継続性の考察」(発表:岡氏)

※当発表資料は非公開であるため、議事録には概要のみを記載。

・岡氏はクラウドベンダーのアプリケーション開発担当としての立場である。業務にあたり、お客様とクラウド事業者、または IaaS クラウドサービスプロバイダーと開発ベンダー間でセキュリティに関するさまざまな課題に直面した。今回、次の3点について考察する。

1. セキュリティおよび事業継続性に関してクラウドサービスおよびクラウドサービスプロバイダー選定のポイントはどのようなものであるか?
2. セキュリティおよび事業継続性に関してサービス利用者の役割と責務のポイントはなにか?
3. セキュリティおよび事業継続性に関する利用者のクラウドサービス選択のチェック項目とはどのようなものか?

・チェック項目としてプロバイダーの企業状況がある。添付のリスト(非公開)に従ってチェックすると、マルチテナントでのクラウドサービスを利用する場合個別単体の質問に答えるのはムダと思える。サービスの提供の項目で脆弱性診断を実施しているか、という質問がある。利用者の使用環境や要求レベルを十分理解したうえでないと正しい診断は不可能である。第三者監査の実施も含め、どのように考えるべきか?

・契約の管理に関して海外のセンターを利用した場合、SLA の確認、税務対応についても大変な WL がかかることがある。

・一般に買う立場の方がベンダーサービスを選択するためのチェックリストを使うケースはあると思う。また、入札案件の RFP 作成で差別化としてわざと要件を追加することもあとと聞く。

・経産省から 2014 年 3 月に改定版、「クラウドサービス利用のための情報セキュリティマネジメントガイドライン」、初版「クラウドセキュリティガイドライン活用ガイドブック」(クラウドサービス利用シーンに応じた活用ガイドブック)が発表されています。これらを参考資料として利用してください。

・今日のさまざまな意見を踏まえ今後も継続して検討していきたい。

(2) 「2014 年 ITBO 研 活動のまとめと 2015 年活動計画について」(発表:大塚)

(前回からの続きで) いままでの活動で収集した情報を整理して Issue (課題) を定義し、解決策としての Hypothesis (仮説) を設定する。

・ 前は、「2020 年オリパラに向けて世界最高水準のサイバーセキュリティを実現するため、官民学連携で何をすすめるなければならないか」をテーマとした。

・ 今回具体的なサブテーマとして下記のように整理した。

・ ITBO 研では、サイバーセキュリティの「昨日、今日、明日」という観点で議論を展開してきたが、最終ゴールは近未来の「明日」を安心安全で明るい社会にするために今努力することを提言していきたい。

①IoT として 2020 年に 500 億デバイスがつながる世界を見据えたリスクと対策

(ア) ビックデータ→データ解析・分析技術による新たな価値創造 (インダストリー 4.0、医療ロボット、ドローン、自動運転) を発展させるために必要なサイバーセキュリティとは?

(イ) クライアント環境の変化 (BYOD, Mobile First) に対応した新しいサイバーセキュリティ指針、対策とは?

②マイナンバー制度の利活用促進に必要なサイバーセキュリティ対策

(ア) 2018 年 1 月にすべての企業、国民がサイバーセキュリティ基盤を構築しスムーズな制度開始を行うためには?

(イ) 将来のマイナンバーと民間サービスの連携活用を促進させるための安心安全な社会基盤となるサイバーセキュリティ環境を構築するには?

③必要なサイバーセキュリティ人材の育成

(ア) 企業内の専門家のスキル向上と確保するには?

(イ) 非常事態発生時への事業継続対応は?

④国産の新しいセキュリティソリューションの創造と育成

(ア) サイバーセキュリティ産業を育成し成長戦略の柱に置くためには?

4. 次回 ITBO 研究会の日程

	開催日	時間	場所
	5月12日(火)	16:30-18:30	BCAO 東京オフィス

(※) 次回(5月12日)の研究会で、2014 年度研究会活動報告会に使用する、全体写真を撮影するので、多くの方に出席していただきたい。よろしくお願いします。

5. ITBO 研究会会員 (敬称 略)

No.		氏名	参加	所属
1	座長	大塚 純一	○	
2	副座長	関山 雄介		大成建設
3	副座長	伊藤 高信	○	FUN Inc.
4		近藤 隆一	○	

5		岡 伸幸	○	ソフトバンクモバイル
6		吉川 明人	○	NECネクサソリューションズ
7		安齊 隆正		富士通エフサス
8		海田 雅人		東京共同会計事務所
9		西出 三輝		損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント
10	電話参加	野原 英則	○	京セラ
11		宮島 正孝		セイコーエプソン
12		山口 孝一	○	IIJ
13		森口 泰樹		AIG
14		加藤 誠		日立コンサルティング
15		後藤 富雄	○	バレイキャンパスジャパン
16		木村 信弥		株式会社 ディー・オー・エス
17		小尾 一介		Octave
18	オブザーバー	伊藤 嘉浩		キングフィッシュコミュニケーション
19	オブザーバー	日下 太一		住友電気工業
20	オブザーバー	斎藤 衛		IIJ
21	オブザーバー	小友 修		富士通エフサス
22	オブザーバー	飯田 清人		江崎グリコ株式会社

上記のほかに、伊藤（嘉）様（キングフィッシュコミュニケーション）、日下様（住友電気工業）、斎藤様（IIJ）、小友様（富士通エフサス）、飯田様（江崎グリコ）がMLにて参加されています。

（以上）